

平成 18 年 7 月 21 日

非血縁者間骨髄採取認定施設  
採取責任医師 各 位

財団法人 骨髄移植推進財団  
ドナー安全委員会

### 骨髄採取時、右腸骨に手術痕を認めた事例について(通知)

平素は、骨髄バンク事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、非血縁者間骨髄ドナーで「右腸骨に手術痕」があった事が、骨髄採取時に判明し、採取検討となった事例が報告されました。

採取施設の判断では、「骨髄採取予定量が 405 ml であるため、左側腸骨のみから採取を行うことで、ドナーへの影響を最小限にとどめ採取を実施したい」と相談があり、地区代表協力医師及び危機管理担当医師へ確認を行いました。その結果、「採取施設判断を追認」することとなり骨髄採取が実施されました。

#### < 情報 >

- ・ドナー情報：40 歳代、男性
- ・骨髄採取予定量：405 ml

#### < 結果 >

- ・採取施設の判断により採取実施とした。
- ・最終骨髄採取量：452 ml
- ・採取有核細胞数： $2.2 \times 10^8$  / Pt kg

#### < 背景 >

- ・ドナーは、以前にもコーディネート対象となったことがありましたが、今回の採取まで腸骨の手術に関する申告はありませんでした。

#### < 対応 >

- ・術前健診の際に、腸骨の手術歴を確認すること

当財団としては、再発防止の観点から当該事実を各採取施設に対して情報提供し、注意喚起を促すこととしました。

ご質問、ご不明な点がございましたら、下記まで御連絡ください。

ドナーコーディネート部  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-19  
廣瀬第 2 ビル 7 階  
TEL：03-5280-2200  
FAX：03-5283-5629